



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係各位

2016年9月20日



## 環境教育プログラム つながる輪『いのち』



### 旭山動物園内の循環型農園にて「収穫祭」を開催！ ～“生態系の循環”を体感しよう～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 代表取締役社長:佐々木 康行)は2016年9月24日(土)、旭山動物園および協力団体と実施する環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」の活動エリアである、旭山動物園内の「循環型農園」にて、今年も「収穫祭」を実施します。「つながる輪『いのち』」は、当社と旭川市との「魅力的なまちづくりに関する基本協定」にもとづく環境教育事業で、動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その作物が動物や人間の食料になることで食物の循環を学ぶ環境教育プログラムとなっており、さまざまな企業・団体の協力により運営を行っています。



同農園は、2008年7月に当社で寄贈した園内の休憩スペース「やすらぎの森」横に位置し、来園者に環境に対する興味を持っていただくきっかけとなることを目指し活動するもので、今年で7年目を迎えます。今年5月には農園開きを行い農作物の作付けを行ったほか、「ホタルが生息できる環境づくり」を目指し、ホタルの幼虫を放流しました。

また、収穫祭では旭川大雪幼稚園の園児(約70名)を招き本年度作付した作物(稲、野菜)の収穫を行うとともに、収穫した野菜を園内の動物に提供いたします。

つきましては、下記の通り収穫祭を実施いたしますので、ご多忙の折とは存じますが、取材を賜りたくご案内申し上げます。

#### 環境教育プログラム「循環型農園」収穫祭

- 日 時 : 2016年9月24日(土) 午前10時から
- 場 所 : 旭川市旭山動物園やすらぎの森横「循環型農園」前(旭川市東旭川町倉沼)
- 出席者 : 旭川市 旭山動物園長 坂東 元 様  
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 営業統括本部  
第二本部 フルサービス営業四部長(地域連携担当) 松村 忠司  
旭川実業高校、旭川農業高校、拓殖大学北海道短期大学、旭川大雪幼稚園 など
- 内 容 : ①旭川実業高校生の活動報告  
②関係者全員で収穫実施(旭川大雪幼稚園の園児約70名も参加)  
③収穫した野菜を動物に提供

■ 協力関係者及び協力内容

(敬称略)

協力団体及び氏名	役割等
旭川実業高校	農園管理、堆肥管理
旭川農業高校	農園管理、堆肥管理
拓殖大学北海道短期大学	農園アドバイザー、作物育成指導
株式会社北海道録画センター	農園づくり支援、活動内容録画
花本建設株式会社	土、有機肥料提供と搬入
龍後設備株式会社	水廻り設備工事支援
株式会社新見産業株式会社	焼丸太提供(柵)
有限会社旭川銘木	畑の囲い木枠用板提供
北海道労働者協同組合	農園管理支援
山田 有弘	ホタル提供
旭川市立旭山動物園	トータル管理、農園場所提供、水道光熱費負担
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	環境プログラム総合調整

■ 「つながる輪『いのち』」募金自動販売機 設置協力者

(敬称略)

	設置協力者の名称	設置協力者の住所
1	ロッジヴィクトリイ	北海道旭川市春光台1条4丁目
2	木村下宿	北海道旭川市末広4条2丁目
3	株式会社トラスポジャパン	北海道旭川市末広6条1丁目
4	東邦電設株式会社	北海道旭川市東光3条2丁目

## 【ご参考】 当社の旭川での取り組み

### 魅力あるまちづくりに関する基本協定(締結日 2008年4月)

「魅力的なまち旭川づくり」を目指す旭川市と当社の双方が保有する資源等を活用することで、旭川市が特徴的な街となり、持続的に発展することを目的としています。具体的な取り組みは、以下の通りです。

(同協定に基づいた取り組み)

・2008年7月、旭山動物園という日本有数のメッセージ性の強い施設において、来園者がもっと「動物たちからのメッセージ」や「環境について」をゆっくりと話することができる憩いの場として利用できる「やすらぎの森」を寄贈。

・2008年5月より、「デジタル通信 あさひかわ」として、当社が所有する電光掲示板付き災害対応型自動販売機で、旭川市が発信する様々な環境情報・観光情報(施設・イベント等)を、市民や観光客へ提供するとともに、防災情報等のセーフティネットを構築するなど、地域情報ネットワークのツールとして当該自動販売機を活用しています。

・2010年4月より、学生主導による環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」をスタート。旭山動物園内「やすらぎの森」横の「循環型農園」にて学生主導によって野菜栽培や収穫を行います。また、「ホテルが生息できる環境づくり」にホテルの幼虫を放流するなど、学生に、生き物の循環を体感してもらうとともに、来園者へ環境メッセージ等を伝えています。

・2011年9月より、旭山動物園のテーマ「伝えるのは命」をより表現出来る理想の動物園を目指して、2007年(開園40周年)に創設された「あさひやま“もっと夢”基金」を応援し、飲料を購入するだけで寄付活動に参加することが出来る「あさひやま“もっと夢”基金自動販売機」の展開を開始しました。毎年4月に、前年度分の寄付金額を、自動販売機の設置ご協力団体様とともに贈呈する寄付式を行っています。

・2011年11月より、子ども達が憧れの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学べる場を提供する「あさひかわキッズタウン」を毎年開催しています。2015年11月に開催された際には、全24もの団体が個性豊かな職業体験コーナーを用意し、小学校 3~4年生を中心に550名が参加する大盛況のイベントとなりました。



当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

---

<本件に関するお問い合わせ先>  
北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
広報・CSR推進部  
担当:藤井  
TEL:011-888-2091